

初参戦のさばコロッケが特別賞 —第7回全国コロッケフェスティバル—

9月22日(日)、茨城県龍ヶ崎市で開かれたご当地コロッケ日本一決定戦「第7回全国コロッケフェスティバル」にて、日高町観光推進プロジェクト協議会(会長・松本町長)が出店した「さばコロッケ」が、初参戦で特別賞の龍ヶ崎市長賞を受賞しました。

さばコロッケは日高町で水揚げされたさばを使用。さばを南蛮漬けにし、ミンチ状にしたものをジャガイモに練り込んで作られています。フェスティバルには同協議会の日高町商工会山田理司会長ら7名のメンバーが参加。南蛮漬けとさばの風味が好評で、長蛇の列ができるほど盛況。用意した1,200個のさばコロッケが見事完売しました。

フェスティバルの来場者数は約5万7,000人で、来場者の投票により順位が決定。龍ヶ崎市長賞を受けたさばコロッケは、来年秋に開催予定の全国コロッケフェスティバルグランドチャンピオン大会への出場権を獲得しました。山田会長は「序盤から順調な売り上げだった。おいしかったと再度買いに並んでくれた人もいて、うれしかった」と話していました。



9月26日(木)、日高町旅館民宿組合(濱一己組合長)が、西山ピクニック緑地のクエ供養碑前でクエ供養を営み、関係者ら9人が出席しました。

冒頭、濱組合長が「数多くの恩恵に深く感謝するとともに、他にまねの出来ないすばらしい『食』を提供いただいたクエに心からのご冥福をお祈りし、日高沖に生息するクエの繁栄を念じます」とあいさつ。松本町長ら来賓のあいさつの後、読経が流れる中、出席者らが次々と焼香してクエの冥福と今シーズンの繁栄を願いました。

日高町では、クエ・フェアを皮切りに、本格的なクエ料理のシーズンを迎えます。

シーズン直前！感謝の「クエ供養」
—西山で旅館民宿組合が営む—

災害時の物資供給について協定
—日高町とコメリ災害対策センター—



9月26日(木)、日高町はNPO法人コメリ災害対策センターと「災害時における物資供給に関する協定」を締結しました。

この協定は、地震や風水害などにより大規模災害が発生した際、町からの要請でコメリ災害対策センターからブルーシートや土のう袋、乾電池などの物資が有償で供給および運搬されるものです。

松本町長は、「近年、各地で大規模災害が発生し、昨年は日高町でも台風21号により大きな被害を受けた。連携を密にし、災害時の物資確保に役立てたい」、コメリ災害対策センター古澤通規常務理事は「昨今全国的に災害が発生し、これまでも協定先からの要請で物資を供給している。その経験を活かして協力していきたい」と話されました。

優勝を目指して
—内原少年野球クラブが表敬訪問—



9月3日(火)、ほっかほっか亭カップ第43回近畿少年野球大会に出場する内原少年野球クラブの選手が松本町長を表敬訪問しました。

訪れたのは主将の吉田悠悟君、橋本聖良君、笹末羽さん、土堀千聖さん、熊代まなさんの5名。松本町長が「普段の監督、コーチの教えを思い出して、決勝を目指して頑張ってください」と激励しました。選手らは「一戦一戦全力でプレーして楽しみたい」「バッティングでも守備でも活躍できるようにしたい」と意気込みを語り、主将の吉田君は「優勝を目指して頑張ります」と力強く話していました。